



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 株式会社UACJ

上場取引所 東

コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）石原 美幸

問合せ先責任者 （役職名）財務本部副本部長・経理部長 （氏名）坂上 淳 TEL (03)6202-2600(代)

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第3四半期	407,439	△12.0	3,075	△45.4	△598	—	△4,685	—
2020年3月期第3四半期	462,756	△7.0	5,632	△59.5	1,349	△81.1	560	△53.3

（注）包括利益 2021年3月期第3四半期 △13,696百万円（－％） 2020年3月期第3四半期 △94百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△97.13	—
2020年3月期第3四半期	11.61	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第3四半期	734,761	186,640	23.5
2020年3月期	752,785	202,716	25.0

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 172,845百万円 2020年3月期 188,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	560,000	△9.0	8,000	△21.0	1,000	△73.6	△6,500	—	△134.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2021年2月4日）公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	48,328,193株	2020年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	101,025株	2020年3月期	97,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	48,229,537株	2020年3月期3Q	48,234,739株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、中国を中心として一部回復の兆しはありますが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響を受けて、引き続き厳しい状況が継続しております。国内経済においても、足元で一部持ち直しの動きが出ているものの、本年に入り、一部地域に発令された緊急事態宣言により、当社を取り巻く経営環境は不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、Tri-Arrows Aluminum Inc.やUACJ (Thailand) Co., Ltd.で販売数量は増加したものの、全体としては新型コロナウイルス感染拡大の影響により販売数量が減少したため、連結売上高は407,439百万円(前年同期比12.0%減)となりました。損益については、販売数量の減少等により、連結営業利益3,075百万円(同45.4%減)、連結経常損失598百万円(前年同期は1,349百万円の利益)となりました。また、構造改革損失や税金費用の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,685百万円(前年同期は560百万円の利益)となりました。なお、前年同期は関係会社株式等評価損及びそれに係る繰延税金資産を計上しております。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、飲料缶は前年同期比微減となりました。自動車関連向け需要は前年同期比で大幅にマイナスとなりました。電気機械や精密機械関連、液晶・半導体製造装置等の需要も低調であり板類の内需全体数量としては前年同期比で減少となりました。押出類に関しては、バストラック、自動車熱交、二輪の輸送向けが減少し押出類全体でも前年同期比で減少となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前年同期比で板類は微減となりました。IT分野は堅調でしたが、缶材や自動車関連材、電気機械や精密機械関連、液晶・半導体製造装置用厚板で減少し、また押出類でも減少しました。

一方、当社グループの海外向売上数量は、Tri-Arrows Aluminum Inc.やUACJ (Thailand) Co., Ltd.などの缶材の増加により前年同期を上回りましたが、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、国内販売数量の減少やアルミ地金価格の下落等により、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高については341,438百万円(前年同期比9.1%減)となりました。営業利益については、Tri-Arrows Aluminum Inc.での販売が堅調であったこともあり、7,277百万円(同3.9%増)となりました。

加工品・関連事業

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、一部の分野で復調や好転が見られるものの、自動車や空調関連品等の分野における販売が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は122,068百万円(前年同期比15.1%減)、営業損失は712百万円(前年同期は2,525百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響による資金調達リスクに備え、事業活動に十分な資金を確保したことに伴い、現金及び預金、有利子負債が増加しておりますが、減価償却による固定資産の減少や子会社株式売却による連結子会社の減少等により、当第3四半期連結会計期間末の資産については734,761百万円(前連結会計年度末比2.4%減)、負債については548,121百万円(同0.4%減)となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や為替換算調整勘定の減少等により186,640百万円(同7.9%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響が未だあるものの、アルミ地金価格の上昇による棚卸評価関係の好転や操業度改善等により、2020年11月5日付「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高560,000百万円、営業利益8,000百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純損失6,500百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,741	46,701
受取手形及び売掛金	100,913	111,300
商品及び製品	45,608	33,395
仕掛品	50,153	51,504
原材料及び貯蔵品	40,158	39,445
その他	23,444	17,579
貸倒引当金	△98	△230
流動資産合計	288,919	299,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	72,353	77,410
機械装置及び運搬具（純額）	137,232	144,292
土地	104,957	104,642
その他（純額）	60,825	25,363
有形固定資産合計	375,366	351,706
無形固定資産		
のれん	39,148	35,560
その他	10,968	9,093
無形固定資産合計	50,116	44,653
投資その他の資産		
投資有価証券	13,036	13,986
その他	25,423	24,781
貸倒引当金	△75	△58
投資その他の資産合計	38,384	38,708
固定資産合計	463,866	435,068
資産合計	752,785	734,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,023	97,763
短期借入金	54,298	74,565
1年内返済予定の長期借入金	53,494	35,206
その他	60,619	35,223
流動負債合計	264,434	242,757
固定負債		
長期借入金	236,218	237,046
退職給付に係る負債	18,182	18,115
その他	31,234	50,203
固定負債合計	285,635	305,364
負債合計	550,069	548,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	50,481	44,832
自己株式	△319	△327
株主資本合計	182,756	177,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	636
繰延ヘッジ損益	△2,042	△1,769
為替換算調整勘定	10,079	△913
退職給付に係る調整累計額	△2,501	△2,209
その他の包括利益累計額合計	5,607	△4,254
非支配株主持分	14,353	13,796
純資産合計	202,716	186,640
負債純資産合計	752,785	734,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	462,756	407,439
売上原価	415,354	364,581
売上総利益	47,402	42,857
販売費及び一般管理費	41,770	39,782
営業利益	5,632	3,075
営業外収益		
雇用調整助成金	—	756
デリバティブ評価益	679	544
その他	1,542	1,126
営業外収益合計	2,221	2,427
営業外費用		
支払利息	5,160	4,896
その他	1,344	1,204
営業外費用合計	6,504	6,099
経常利益又は経常損失(△)	1,349	△598
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,941
その他	548	83
特別利益合計	548	2,024
特別損失		
構造改革損失	954	2,236
関係会社株式等評価損	5,367	—
その他	799	494
特別損失合計	7,120	2,730
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,223	△1,303
法人税等	△6,207	2,014
四半期純利益又は四半期純損失(△)	984	△3,317
非支配株主に帰属する四半期純利益	424	1,367
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	560	△4,685

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	984	△3,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	565
繰延ヘッジ損益	△334	517
為替換算調整勘定	243	△11,483
退職給付に係る調整額	△219	△146
持分法適用会社に対する持分相当額	△556	169
その他の包括利益合計	△1,078	△10,379
四半期包括利益	△94	△13,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△247	△14,546
非支配株主に係る四半期包括利益	153	850

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新規設立した優艾希杰東陽光（韶関）鋁材銷售有限公司を連結の範囲に含めております。

連結子会社である株式会社UACJアルミセンターは、2020年10月1日付で、連結子会社である株式会社ACE21及び株式会社メタルカットを吸収合併しております。

連結子会社であるPT.UACJ-Indal Aluminumの全株式を譲渡したため、当第3四半期連結会計期間末で同社を連結の範囲から除外しております。

連結子会社である株式会社UACJ物流の株式を一部譲渡したため、当第3四半期連結会計期間末で同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新規設立した戴卡優艾希杰鋁汽車零部件有限公司を持分法適用の範囲に含めております。

連結子会社である株式会社UACJ物流の株式を一部譲渡したため、当第3四半期連結会計期間末で同社を連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染拡大による当社グループへの影響は、事業や地域によってその程度が異なりますが、今後1年程度に亘って続くものと仮定しております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌四半期連結会計期間以降の財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(構造改革損失の計上)

構造改革損失の内訳は、以下のとおりであります。

減損損失	1,602百万円
関係会社株式売却損	313
関係会社株式等評価損	297
その他	23
計	2,236

当社連結子会社であるUACJ Extrusion (Thailand) Co.,Ltd.において、冷房専用エアコン室外機用オールアルミ熱交換器事業の譲渡及びアユタヤ工場の閉鎖を決議したことに伴い減損損失1,484百万円、また、当社において関係会社株式等評価損297百万円を計上しました。

当社連結子会社である株式会社UACJ 製箔の滋賀工場において、アルミ箔圧延の生産効率化を目的として一部の設備を休止したため、減損損失118百万円を計上しました。

当社連結子会社であるPT. UACJ-Indal Aluminumの全株式を譲渡し、関係会社株式売却損313百万円を計上しました。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	326,073	15,597	121,086	462,756	—	462,756
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,616	7,317	22,682	79,615	△79,615	—
計	375,689	22,914	143,768	542,371	△79,615	462,756
セグメント利益	7,001	373	2,525	9,899	△4,268	5,632

(注)1. セグメント利益の調整額△4,268百万円には、たな卸資産の調整額52百万円、セグメント間取引消去△256百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,064百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	加工品・関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	299,315	108,123	407,439	—	407,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,123	13,945	56,068	△56,068	—
計	341,438	122,068	463,506	△56,068	407,439
セグメント利益又は損 失(△)	7,277	△712	6,565	△3,490	3,075

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,490百万円には、たな卸資産の調整額153百万円、セグメント間取引消去△76百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,566百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「伸銅品事業」を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「アルミ圧延品事業」、「伸銅品事業」、「加工品・関連事業」の3区分から、「アルミ圧延品事業」、「加工品・関連事業」の2区分に変更しております。